

＜自転車安全利用促進委員会レポート＞

宮崎県教育委員会主催「令和5年度県立学校・私立学校生徒指導主事連絡協議会」にて「自転車通学指導セミナー」を初開催
宮崎県内の高等学校等の教職員約70名が参加

自転車の正しい利用方法や安全安心な自転車の選び方、メンテナンスの重要性を啓発する自転車の安全利用促進委員会と一般社団法人自転車協会は、宮崎県教育委員会主催のもと、2023年10月20日(金)ひなた武道館大会議室で行われた『令和5年度県立学校・私立学校生徒指導主事連絡協議会』にて、自転車通学指導セミナーを実施し、県内の高等学校等の教職員約70名が参加されました。

宮崎県は、県全体の事故件数は減少傾向にあるものの、高校生の通学時1万人当たりの自転車事故件数では、宮崎県は全国ワースト10位(2022年)と高い傾向にあります。(当委員会調査)。

本講演では、宮崎県の高校生に自転車事故の多い要因について考えるほか、本年4月より施行されたヘルメット着用努力義務化によるヘルメットの重要性、また他都道府県の自転車通学指導の好事例紹介を交えて解説、講演いたしました。また、講演後は、「実践している自転車教育についての意見交換と、それを踏まえて、事故削減に向けてどのようなアプローチをしたら有効か」をテーマに各学校の教職員で話し合っていました。

講師の遠藤まさ子(自転車の安全利用促進委員会メンバー／自転車ジャーナリスト)は、「成人に比べ車の運転免許を持っていない高校生は道路標識等を正しく理解できておらず、道路交通法を前提とした指導が必要です。」と強調し、「万が一事故が起きた際には、ヘルメットの着用有無が被害の大きさの分かれ目になり、保険加入の有無がその後の生徒や家族の人生を左右します。事故に遭わない・起こさないための教育のほか、事故に遭ってしまった・起こしてしまった時のことを考え、自転車保険の加入、またヘルメット着用はしっかりと指導していきましょう」と伝えました。

また、自転車も「乗り物」だということを自覚し、BAAマークなどの安全マークが付いた自転車を選び、定期的にメンテナンスをすることの重要性について解説いたしました。

秋は文化祭などの行事が多い上、想像以上に日暮れが早まり事故が増える傾向にあります。ルール・マナーだけでなく、子どもの成長、そして季節に応じた「リスク」を見極めた指導や、自転車の車体自体の安全性についても改めて理解いただき、他県の指導事例を参考に教職員の皆様が自転車通学の安全指導について考える機会となりました。

【参加した教職員の感想】

- ・他校の様々な取り組みなど具体的な事例が多く、今後の指導に活かせる内容だった。
- ・ヘルメットの有無が非常に大事だと思った。自転車の定期的なメンテナンスや、BAAなどの安全マークについても知ることができ参考になりました。



■参考資料

《講師略歴》

遠藤 まさ子

自転車の安全利用促進委員会メンバー／自転車ジャーナリスト

自転車業界新聞の記者や自転車専門誌の編集などを経てフリーランスへ転向。自転車・育児用品を中心に取材を行い各誌に寄稿。自転車の中でも子ども乗せ自転車、幼児車、電動アシスト自転車を得意とし、各種メディアで自転車の利活用、安全指導等解説を行う。



《自転車の安全利用促進委員会》

自転車の安全利用促進委員会とは、一般社団法人自転車協会の協力を受け、安全安心な自転車利用のための啓発活動を行う団体です。自転車の利用者の方々に快適な自転車生活を送って頂くため、購入時に知っておくべき自転車の選び方から購入後のメンテナンス、正しいルール・マナーなどの情報発信を行っています。また、活動の一環として教職員や学生を対象とした、自転車通学指導セミナーも全国で開催しています。

<http://jitensha-anzen.com/>

《BAA マーク》

BAA マークは、一般社団法人自転車協会が定める自転車安全基準に適合した自転車に貼られています。自転車安全基準には全部で約90項目の検査項目があり、ブレーキ制動性能、フレーム・駆動部の強度、ライトの光度、リフレクターの反射性能などの検査に合格する必要があります。



《2021 年都道府県別 自転車通学時の事故件数ランキング／宮崎県》

高校生の通学時1万人当たり事故件数ランキング(2022年)					
順位	前年順位	都道府県	1万人当たりの事故件数	事故件数	前年比増減率(1万人当たり)
1	1	群馬	93.63	463	-16.37%
2	2	静岡	56.67	525	-11.85%
3	3	徳島	43.27	76	4.88%
4	6	愛知	39.96	749	17.49%
5	9	埼玉	30.80	509	3.60%
6	4	香川	30.78	78	-18.24%
7	5	佐賀	29.02	65	-16.41%
8	11	栃木	28.01	141	-25.05%
9	8	兵庫	27.65	360	-7.76%
10	7	宮崎	26.22	46	-15.70%
11	14	千葉	23.75	339	-3.28%
12	16	岡山	23.67	119	7.36%
13	10	山梨	23.20	52	-21.26%
14	19	大分	23.01	68	12.65%
15	18	大阪	21.38	443	3.06%